ビニール袋凧

用意するもの

- ストロー4本
- 爪楊枝（２本）
- 凧糸（細めのもの）
- セロハンテープ
- カッターまたはハサミ
- ビニール袋
- 型紙の用紙

▼今回、皆さんに紹介するのは、「凧（たこ）」です。

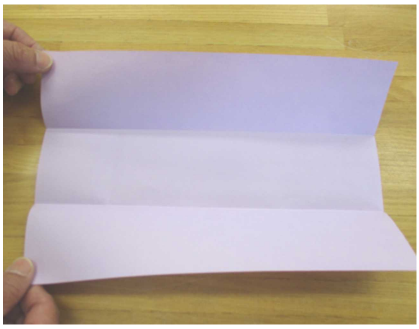
▼平安時代に作られた辞書に「凧」の記述があります。

▼「凧」に絵を描いたり、シールを貼ったりするのも楽しいオリジナルの作品になりますよ。

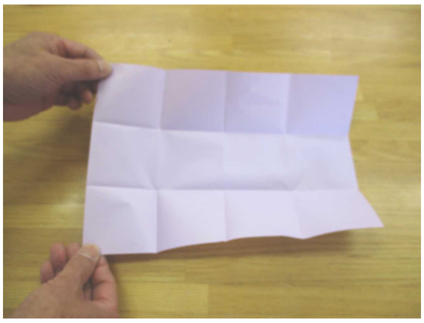
▼良く飛ぶ素敵な「凧」を作って、「多幸」になりましょう！

ビニール袋凧の作り方！！

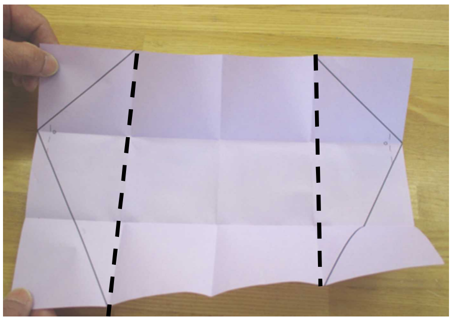
凧の型紙を作ります。



横に3等分にします。

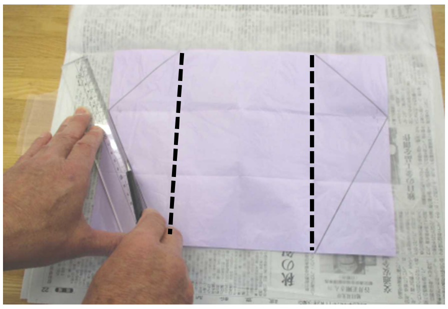


縦に4等分にします。



写真の様に線を引き、完成です。

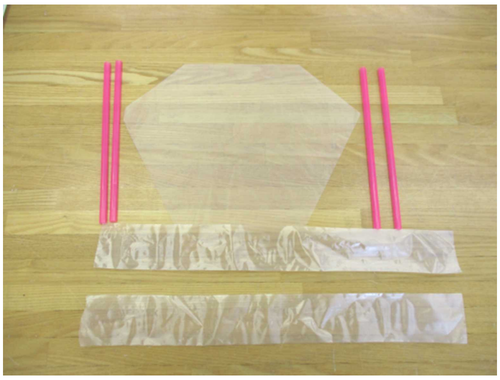
材料を準備します。



型紙の上にビニールを置き、三角部分をカットします。

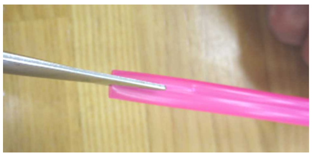
※カッターを使う場合、テーブルを傷つけないように新聞紙等を敷いて下さい。

※ビニールと型紙をセロハンテープなどで固定すると切りやすいです。

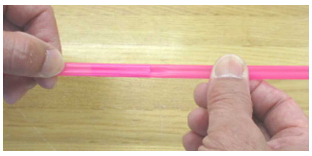


カットしたビニール、ストロー、爪楊枝、凧の足（スズランテープ）で作ります。

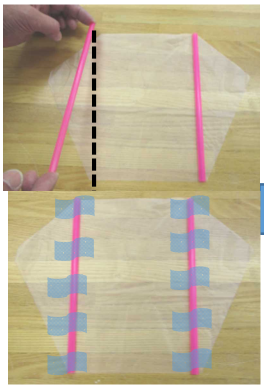
凧を作ります。



片方のストローに切れ目を入れます。

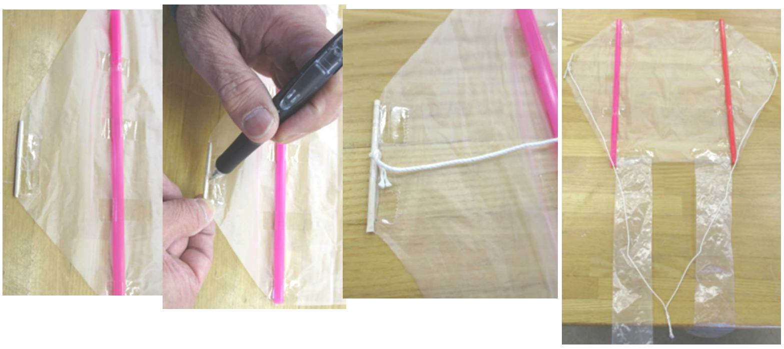


2本をつなぎテープで固定します。（2つ作ります。）



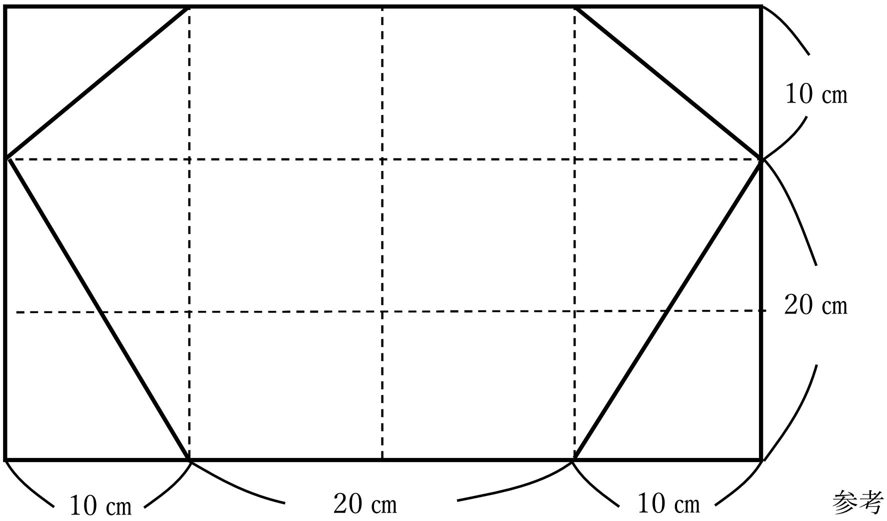
点線の位置をテープで固定します。（5～7か所）

完成です。



- 爪楊枝のとがった部分を切り取ります。
- 凧の左右の三角部分に巻き付け、テープで固定します。
- 穴を開け、ストローの2倍位の凧糸を結びます。
- ストローの2倍位の足をテープで固定し、完成です。

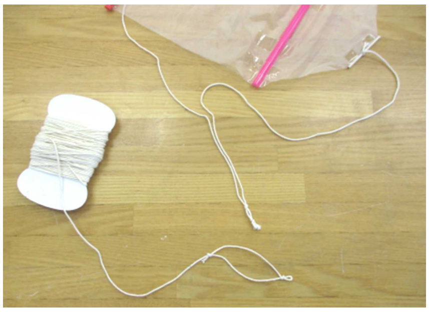
大凧作りにチャレンジしてみよう



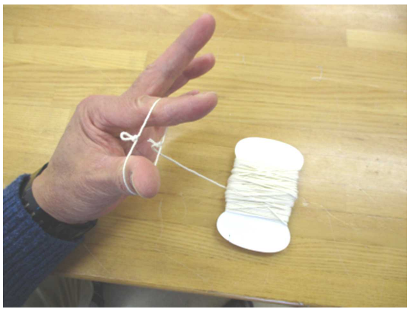
参考

- **大きな用紙（カレンダーなど）も**
  縦 3 等分、横 4 等分にすれば、型紙は出来上がります。
- **凧になるビニール袋の大きさも事前に確認しておきましょう。**
- **大きさによって、ストローの数や爪楊枝を他の物に変えて作ってみよう！**

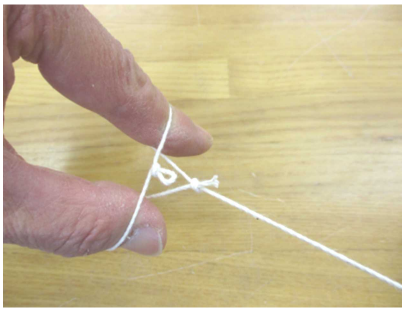
結び方の紹介



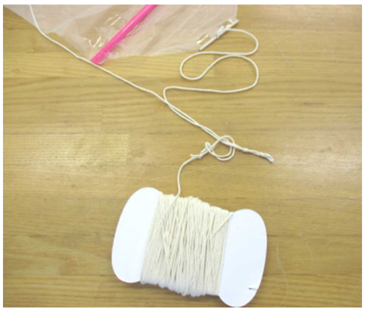
凧の糸は１つ、糸巻きの糸は大小２つの輪を作ります。



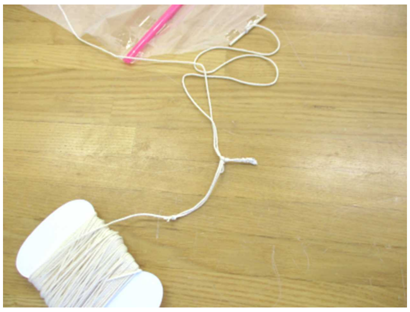
糸巻きの大きい輪に親指と人差し指を入れ、輪を広げます。



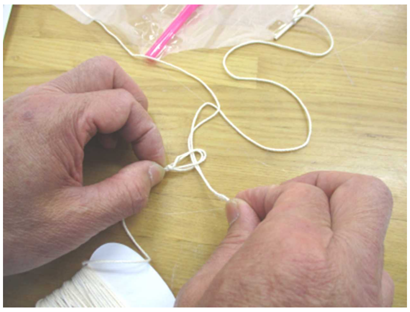
広げた輪を返します。



２重になった糸巻きの輪に凧の糸を通します。



引っ張り、輪を小さくすると、結び上がりです。



それぞれの輪を引っ張ると、簡単にほどけます。